

令和5年1月4日

公立保育園における保育支援システムの運用開始について

市では、保育士の負担軽減と保育の質の向上を目的としたICT化及びDX推進の取り組みとして、公立保育園8園に保育支援システムを導入し、1月より順次運用を開始します。

これまで紙媒体中心に業務を行ってきましたが、このシステムを導入することで**職員間での円滑な情報共有や効率化を図ります**。また、保護者との欠席等の連絡についても**スマホのアプリを通じて容易に行えるなど利便性の向上を図ります**。

1 概要

保育支援システム「C o DMON」(コドモン)の導入

2 導入施設

公立保育園8園

3 主な支援システム機能(別紙)と運用開始時期

(1)園児台帳	}	1月から運用開始
(2)登降園管理		
(3)お知らせ一斉配信		
(4)遅刻・欠席・お迎え等の連絡		
(5)指導案・日誌作成	}	4月から運用開始予定
(6)保育ドキュメンテーション		

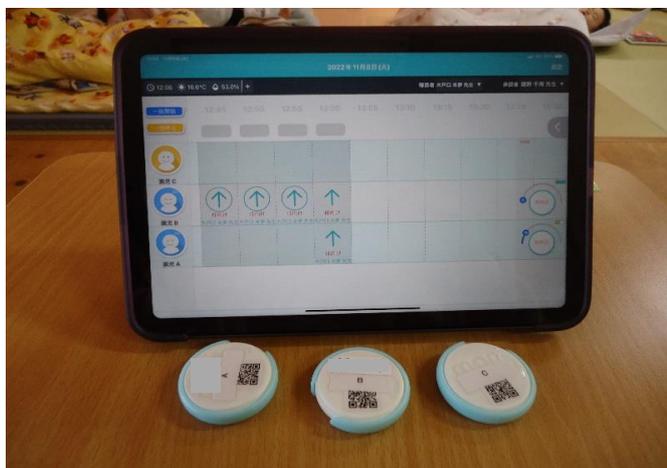
4 ICT化の取り組み

令和4年 8月	<u>午睡チェックシステムの導入・運用開始</u>
令和4年 9月	保育園内の無線LAN整備 支援システム用タブレット配備 各園4台~5台 計32台
令和4年10月	保育支援システムの導入契約締結
令和4年10月~	支援システム初期設定、職員研修開始
令和4年12月	保護者への周知
令和5年 1月~	<u>保育支援システムの運用開始</u>

午睡チェックシステム（令和4年8月から運用開始）

※乳幼児（0・1歳児を対象）に体動を検知するセンサーを取り付け、睡眠中の状況を確認、体の向きを自動記録

体動センサー及び専用タブレット



午睡チェック風景



保育業務支援システム（令和5年1月から順次運用開始）

保育支援システム（コドモン）画面



システム入力の様子



問 合 先	
担当課	福祉部 子育て支援課
課長	浅野 嘉文
係名	保育園管理係
係長	藤白 稔
連絡先	電話（直通 0577-35-3140） （内線 2947）

【保育支援システム導入機能】

(1)園児台帳

園児の名前・クラス・生年月日・健康情報(かかりつけ医師、アレルギー)・健診履歴など、園児ごとに情報を一元管理することが可能です。園内での園児ごとの情報共有が容易になります。

(2)登降園管理

園児の登降園記録は、QRコードを使った打刻機能で自動管理されます。保護者はスマホアプリを使用し、登降園時刻などの確認が可能です。

(3)お知らせ一斉配信

緊急連絡は、クラスや園児を指定し連絡事項を記載するだけで、簡単に情報配信を行うことができます。メール配信の他に、スマホの通知機能やアプリ内で配信などあらゆる方法で情報を届けることができます。

(4)遅刻・欠席・お迎え等の連絡

登降園時間帯の遅刻・欠席・お迎えなどに伴う連絡を、保護者アプリから申請できます。保護者は時間を気にせず瞬時に園に報告することができ、園は電話対応することなくタブレット等でリアルタイムに受け取ることができます。保護者、保育園双方にとって利便性の高い機能です。

(5)指導案・日誌作成

日誌や発達経過記録・月案等がデータ連携し、一貫性のある指導案の作成が可能です。デジタルを活かした閲覧性の良さ、テンプレート機能の活用などで保育品質の向上が期待できます。

(6)保育ドキュメンテーション

「ドキュメンテーション」とは、こどもが活動に夢中になっている瞬間をとらえて写真とコメントで記録するもので、「こども主体の保育」を実現するうえで有効な手法として近年注目されています。ドキュメンテーションを活用することで、保育者・保護者・こども、それぞれに対話を生み出し、こどもの世界を拡げて学びを豊かにすることができます。

ドキュメンテーション機能は「写真つきの日々の記録」を行うだけで、一括で「日誌・掲示物・連絡帳・週日案」が作成され、同じ内容を何度も記入する必要がありません。掲示物も自動的にレイアウトされるため、写真の切り貼りなどの作業も不要、現場の負担を最小限に保育ドキュメンテーションを実践できます。